

平成29年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：（公民）科目：（倫理） 対象：（第2学年A組～F組）

科目担当者：（A～F組：◎）

教科・科目の指導目標	人間と生命尊重の精神に基づき、青年期における自己形成及び人間としてのあり方・生き方への理解を深めさせる。他者とともに生きる人格形成の意欲を高め、公民としての良識を身につける能力や態度を育てる。
------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>反復学習や定期考査等を通して、基礎的知識の定着に取り組むだけでなく、記述問題を通して、既有知識を活用する重要性を認識する生徒が増えてきている。</p> <p>一方、基礎的知識を用語として記憶するのみにとどまり、社会的事象との因果関係を十分に理解できずにいる生徒も見受けられる。また文章理解力や表現力が不十分で、問題の読み違いや、資料から必要とする知識を読み解けないという問題も見受けられる。</p>	<p>①重要な基礎基本用語の反復学習の指導を行うことにより、一層理解を深められるようにする。</p> <p>②より深い理解が得られるように、学習項目と現代社会の問題との因果関係を指摘し、多面的・多角的な視野を養いつつ、基礎的知識の定着を目指す。</p> <p>③他の社会科科目と関連させることで、複合的な知識への発展をめざす。</p> <p>④定期考査や課題を通して、文章表現力を身につけさせる。</p>	<p>①学習内容を、社会の諸課題と関連付けするにより、関心を高めると共に、基礎知識の理解を深め、考察しやすくする。</p> <p>②授業内の発問や定期考査などを通して、これまで学習してきた社会的知識を反復させ、基礎知識の理解を深める。</p> <p>③定期考査等において、知識、思考を積み重ねて答える論述式設問を設定し、思考の構成力ならびに文章表現力の育成に努める。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			